

忍ばずの女



[忍ばずの女 下载链接1](#)

著者:高峰秀子

出版者:中央公論新社

出版时间:

装帧:A6判

isbn:9784122056381

シナリオの読み方から死に顔の工夫まで、五十年の女優人生で体得した役づくりの奥

義。

そして、小津・黒澤・木下・成瀬、名監督の演出比較や、映画撮影の舞台裏など、日本映画史の貴重な証言を綴る。

さらに、著者自ら手がけた唯一のテレビドラマ脚本「忍ばずの女」も併録。

巻末に「この人の真剣さー亡き母・高峰秀子に捧ぐ」（斎藤明美）を収録。

俳優ことはじめ（開幕；プロの世界へ；スクリーンの人生いろいろ；役づくり；上質の個性 ほか）

シナリオことはじめ（シナリオと私；「かあちゃん」のこと；シナリオ『忍ばずの女』）

作者介绍:

高峰秀子 [タカミネヒデコ]

1924年生まれ。五歳の時、松竹映画「母」で子役デビュー。以後、「浮雲」「二十四の瞳」「名もなく貧しく美しく」など、三〇〇本を超える映画に出演。文筆にもすぐれ、『わたしの渡世日記』（日本エッセイスト・クラブ賞受賞）など著書多数。2010年逝去（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录:

[忍ばずの女 下载链接1](#)

标签

高峰秀子

日文原版书

评论

[忍ばずの女 下载链接1](#)

书评

[忍ばずの女 下载链接1](#)